



# 最終試験



# プログラム(コースワーク)の修了要件

## 1. 英語で書かれた専門分野の学位論文の提出

## 2. 英語で書かれた国際雑誌論文の提出

- 筆頭著者、学位論文の主要な構成部分についてのもの

## 3. 融合研究の成果物の提出

- 異なる研究分野の学生/教員と共著の国際雑誌/国際会議論文等

## 4. 予備審査の合格

## 5. 英語による公開研究発表会(最終試験)での合格

## 6. GPIスキル熟達度の条件クリア

## 7. TOEICのスコア 730点以上

## 8. プログラム要件の40単位以上

最終試験 申請書

フリガナ氏名	ハンダイ タロウ 阪大 太郎	HWIP履修開始年月	西暦 2013年 4月 (1期生)
所属研究科 所属専攻	生命機能研究科 生命機能専攻	所属研究科での学年	博士5年(5年一貫)
所属研究室所在地	大阪府吹田市山田丘XXX YYY号室	Eメールアドレス	Handai-tarou@fbs.osaka-u.ac.jp
指導教員 氏名・役職	天気 告 招へい准教授	指導教員の所属	NICT CiNet (生命機能研究科)
予備審査 主査 氏名・役職 (所属研究室の長)	足田 晴矢 特任教授	主査の所属研究科 所属専攻	生命機能研究科 生命機能専攻
副査1 氏名・役職 (異なる研究科教員)	遠荷 北蔵 准教授	副査1の所属研究科 所属専攻	情報科学研究科 マルチメディア工学専攻
副査2 氏名・役職 (学外の研究者)	飯矢 未太 主任研究員	副査2の所属	株式会社国際電気通信 基盤技術研究所
副査3 氏名・役職 (必須ではない)	天気 告 招へい准教授	副査3の所属	NICT CiNet (生命機能研究科)

本申請書の提出により、最終試験の審査が開始されます。最終試験合格のための条件を確認するため、以下の全ての項目を記入してください。

1	学位論文の題目(英語で書かれた論文の英語題目および日本語題目)	Brain xxx weather xxx (脳波xxxの天気xxxに関する研究)	
2	学位論文の主要な構成部分をなしている、国際雑誌に掲載された主論文(著者名、題目、掲載誌名、巻、頁、発表年)	Handai, T., xxx, X., Tenki, T., "xxx xxx xxx xxx", Science 256, 11-18, 2017	
3	融合研究の成果物(論文や作品など) ※2と同じでも構わない)	Xxx, X., Handai, T., xxx, X., xxx, X., "xxx xxx xxx xxx", Journal of Artificial Life and Robotics 20, 222-228, 2017	
4	予備審査の確認: 以下2点、「①専門家として学位論文の研究成果を理解し説明できるか、②融合研究の成果を他の研究者にも容易に理解させることができるか」、を重要な基準として評価されることを理解して申請書を作成したか? (要✓)		✓
5	公聴会の確認: 1月下旬ごろに、英語による公開研究発表会を行い、研究内容およびプレゼンテーション能力(特に、分野の異なる研究者にも学位論文の内容と重要性を伝えられるか)を審査されることを理解しているか? (要✓)		✓
6	GPIスキルが「グローバルリーダーに必要な資質があると認定される」見込みがあることを指導教員と共に確認しているか? (要✓)		✓
7	TOEICのスコアが730点以上であるか? (要✓)		✓
※	修了に必要な単位を修得している(見込みも含む)こと、在籍する研究科の学位審査に合格する見込みがあることを指導教員と共に確認しているか? (要✓)		✓



## 修了に向けてのスケジュール

### 3月修了に関して

予備審関係

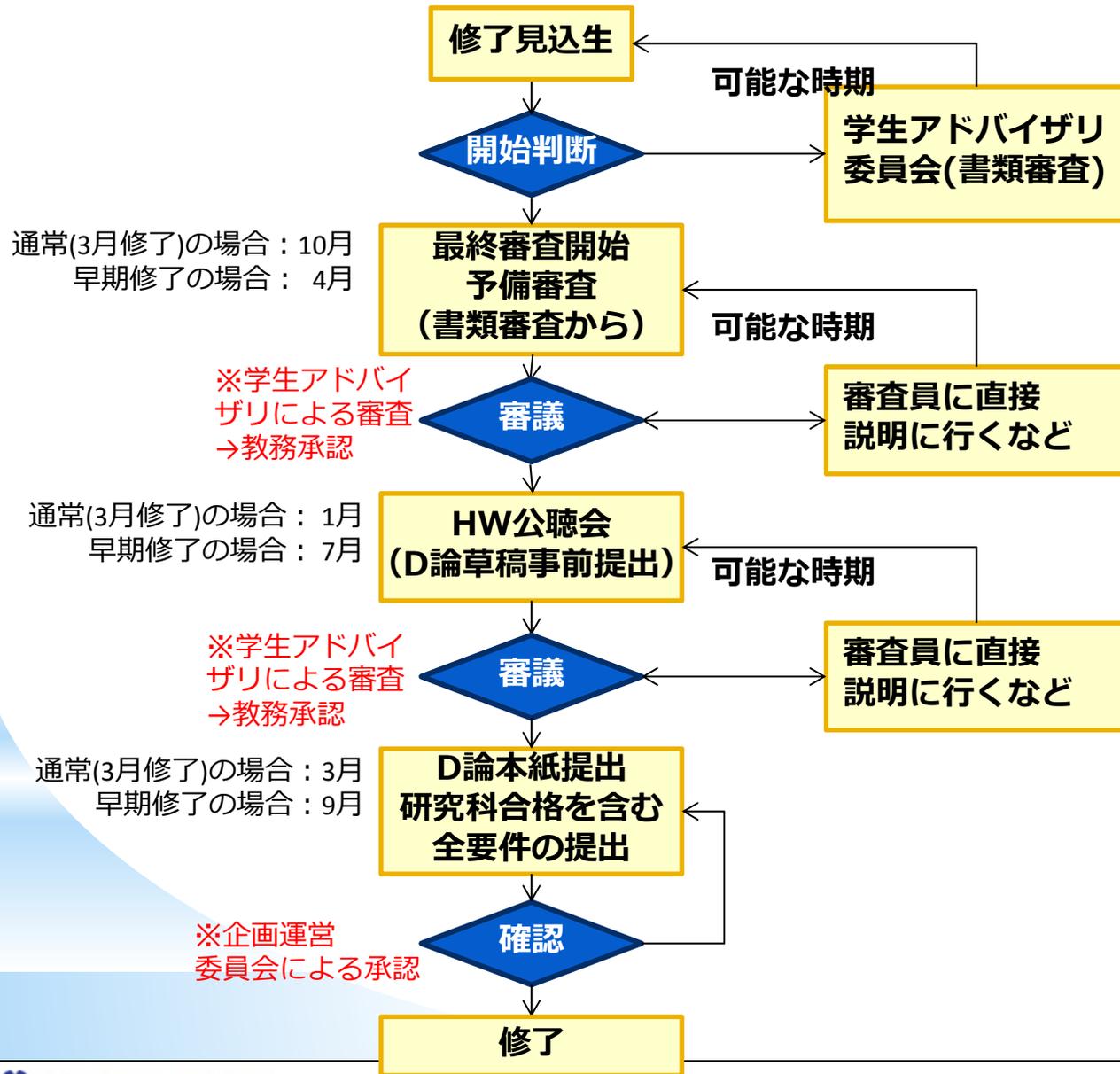
公聴会

赤字=最もCriticalとされているところ

	IST (例: バイオ)	ES (例: システム)	FBS 共通	HW
9月	予備審査、D論草稿			
10月		副査の決定 (教授会承認)		予備審査 (書類審査) ※アドバイザーと同時
11月		各自、副査への事前説明 (予備審査的な役割)	各自、副査への事前説明 (必要なら)	各自、副査への事前説明 (必要なら)
12月	◎公聴会	◎公聴会	予備審申請 (D論草稿)	
1月	学位申請、D論本紙	学位申請、D論本紙	◎予備審査 (Closed)	◎公聴会 (英語) ※下旬、RQEと同日
2月	最終審査 (Closed)	最終審査 (Closed) D論差し替え	本審申請 公聴会、最終審査	
3月	教授会	教授会	D論最終版、教授会	研究科を通れば修了 D論は提出のみ



# 最終試験(プログラム修了判定まで)のプロセス



**オーバードクターの間**

- 学生Advは書類審査のみ(でも毎年受ける)
- 基本的にサポートは無い
- 修了要件の必須単位などに絡む場合、例えばインターンなど、優先はされないがサポートを検討される。

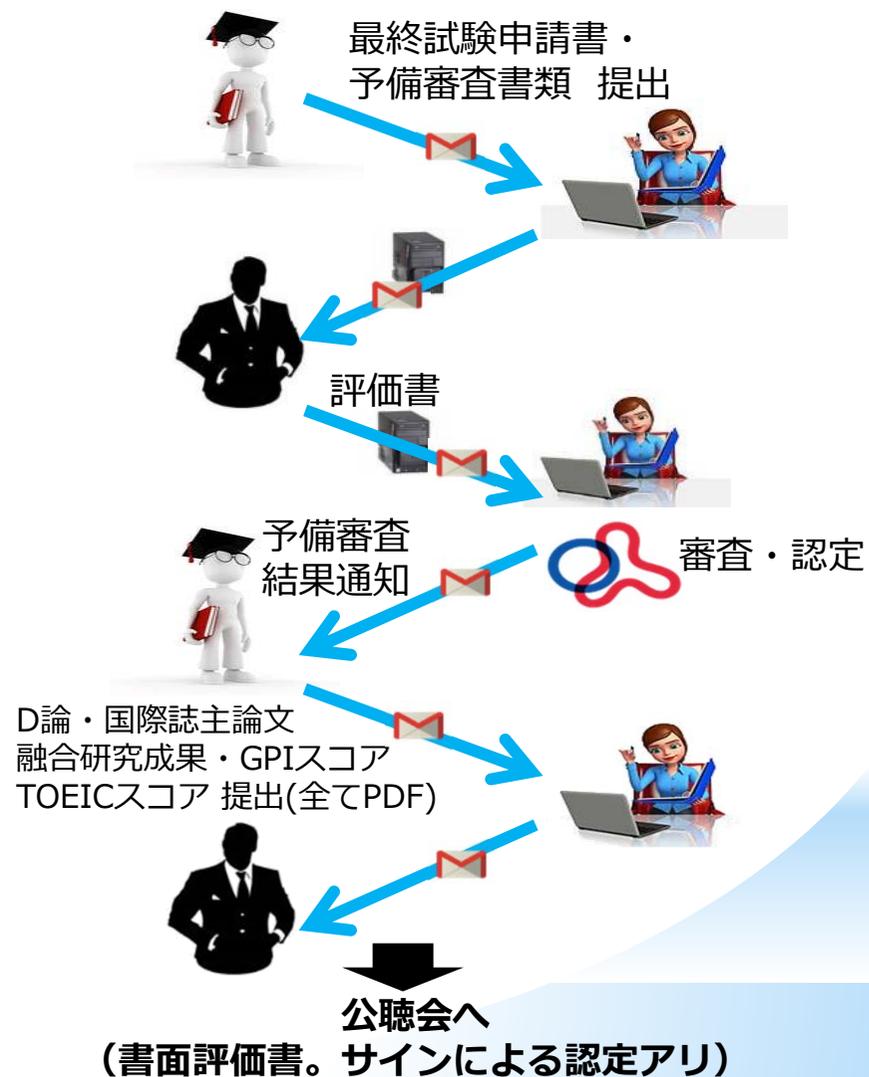


## 具体的手順

### 学生アドバイザー委員会(2回目) (最終試験以外)



### 最終試験 (RQEは該当しない)





## 学位取得・プログラム修了に向けて

- ✓ 学位論文と成果
- ✓ 融合研究の成果
- ✓ インターンシップ科目の単位
- ✓ TOEIC (730点以上)
- ✓ 修了要件 40単位

最終学年の履修生は、  
既におよそ半年しか  
ありません！

5年目までに計画的に！  
(インターンシップや  
英語力等は特に)

### 【最終試験(修了)に向けた相談】

- ✓ プログラムコーディネータ(教務委員長)
  - ◆ 清水先生 : [shimizu@ist.osaka-u.ac.jp](mailto:shimizu@ist.osaka-u.ac.jp)
- ✓ 特任教員
  - ◆ 特任助教 岩崎悟先生 : [iwasaki@humanware.osaka-u.ac.jp](mailto:iwasaki@humanware.osaka-u.ac.jp)
  - ◆ 特任助教 マハズーン先生 : [hamed.mahzoon@irl.sys.es.osaka-u.ac.jp](mailto:hamed.mahzoon@irl.sys.es.osaka-u.ac.jp)
  - ◆ 特任准教授 細田先生 : [hosoda@humanware.osaka-u.ac.jp](mailto:hosoda@humanware.osaka-u.ac.jp)